

【商品仕様】



バッテリー仕様・特長：

- IMR18650 電池を 1 本使用（連続放電レート 25A 以上推奨）
- 510 コネクタ（スプリング式）
- ボタン式出力変更
- QC USB 充電（5V・2A）
- サイズ：縦 70.5mm × 横 48.0mm × 厚み 25.0mm
- バッテリー出力（Wattage／Bypass）
 - ・ 出力範囲：1W～85W

- ・使用可能な抵抗値：0.1Ω～ 3.5Ω（カンタルコイル）

- 温度管理機能（Temperature Ni/Ti/SS316/TCR）

- ・温度設定範囲：200～600°F・100℃～315℃

- ・出力設定：ワット（1W～85W）

- ・Ni（ニッケル）、Ti（チタン）、SS（ステンレススチール）コイルが使用可能

- ・使用可能な抵抗値：0.05Ω～1.5Ω

- ・ノーリキッドプロテクション



アトマイザー仕様・特長：

- チューブはガラス製（メンソール使用可）

- 付属パーツでリキッド容量 2ml、4ml の組み替え可能
- リキッドを上から入れるトップフィル
- ボトムエアフロー調整
- HW コイル (SS0.2Ω、カンタル 0.3Ω付属)
- サイズ 2ml : 太さ 25.0mm、全長 46mm (接続部分含む)
- サイズ 4ml : 太さ 25.0mm、全長 54mm (接続部分含む)

【ご使用方法】

バラバラに分解して掃除も可能です。

ご使用時はアトマイザーベースのエアフローを調整して吸い心地を変えられます。



コイルは2種類付属していますので、好きな方をご使用下さい。

HW1 (SS 素材 0.2Ω/W 出力・温度管理兼用/使用可能ワット数 40~80W/推奨ワット数 50W~65W)

HW2 (カンタル素材 0.3Ω/W 出力用 / 使用可能ワット数 30~70W / 推奨ワット数 45W~60W)



コイルは消耗品ですので、数日~2週間前後を目安に、焦げ臭くなってきたら交換して下さい。

交換時期は使う出力、吸う頻度によって変わります。

HW コイルは内部の数字が増えるごとに、煙が出る内部のシリンダー数が増える仕様になっています。

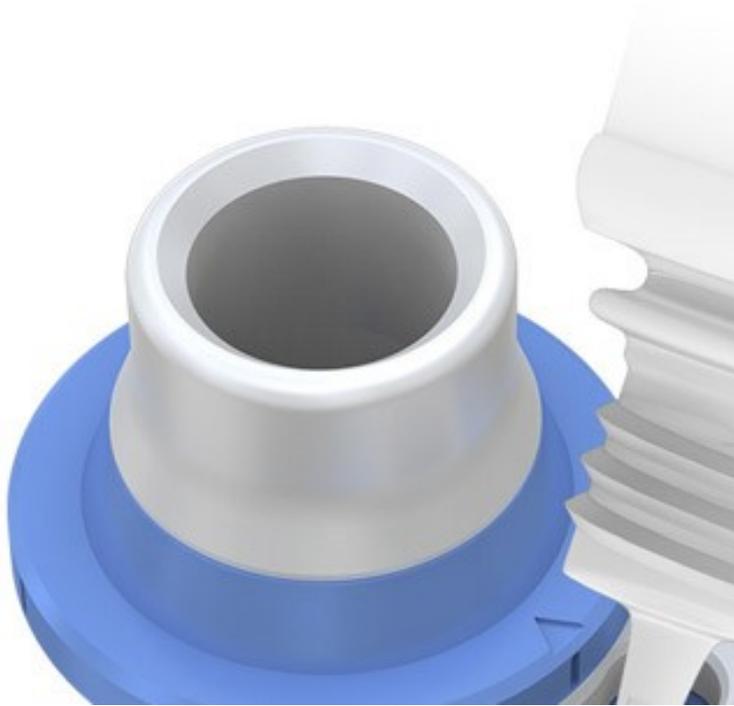
▶ [交換コイルはこちら](#)

HWコイルシリーズ使用

HW Coil	推奨出力	味の良
HW1 	50-65W	
HW2 	45-60W	

トップキャップをスライドしてリキッドを入れます。スライド部分は硬めなので、不用意に開いてしまうことはありません。リ

キッドを入れてフタを閉じたら、**初回とコイル交換時はリキッドが充分染み込むまで 15 分ほど待つ**てからご使用下さい。

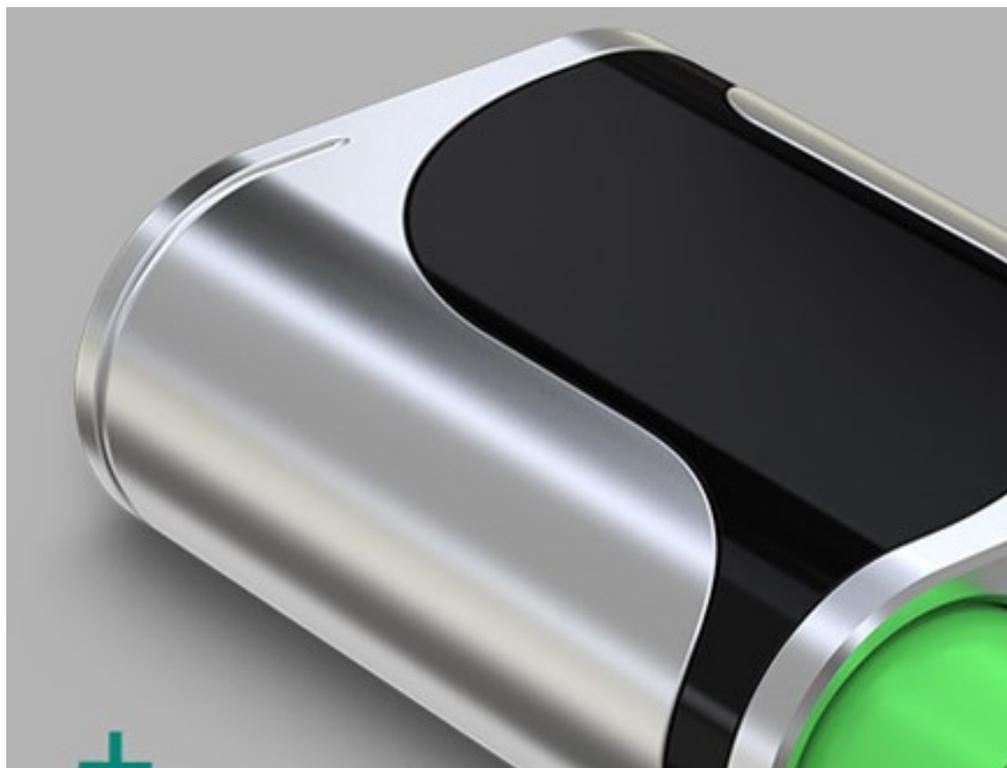


ドリップチップ（吸い口）は、ガバッと煙が入ってくるワイドタイプと、味重視のテーパータイプの2種類が付属しています。



本体のフタを回して外し 18650 電池（連続放電 25A 以上推奨・別売り）を入れます。

プラスが下、マイナスが上です。電池の方向を間違えないようご注意ください。



【モード設定変更・V 1.00】

▶ [最新ファームウェアダウンロードはこちら](#)

パフボタン (ファイアボタン)



【電源 ON/OFF】

「パフボタン」を素早く 5 回押すと、電源 ON/OFF です。吸う時も「パフボタン」押しながら吸います。

本体底部の設定変更ボタンで温度や出力を変更出来ます。

【ステルスモード】 使用時に画面表示が消えます。

電源 ON の状態で、設定変更ボタンの「マイナス」と「パフボタン」を同時長押し。

もう一度同じ事をすると元に戻ります。電池を持たせたいときの省エネに。

【キーロック】 設定した出力でロックされ、変更出来なくします。

電源 ON の状態で、設定変更ボタンの「マイナス」と「プラス」を同時に長押し。

もう一度同じ事をすると元に戻ります。

【ディスプレイ・サブ表示切り替え】

電源 ON の状態で「Wattage」モードに設定し、設定変更ボタンの「プラス」と「パフボタン」を同時に長押し。

点滅したら、設定変更ボタンで下記の 3 パターンに変更可能。

P（吸った回数）、S（吸った秒数）、A（電池のアンペア）

【ディスプレイ表示の反転】ディスプレイの表示が反対になります。

電源 OFF の状態で、設定変更ボタンの「マイナス」と「プラス」を同時に長押し。

もう一度同じ事をすると元に戻ります。

【電池残量 V】電池の残りボルテージを表示します。

電源 OFF の状態で、設定変更ボタンの「マイナス」と「パフボタン」を同時に長押し。

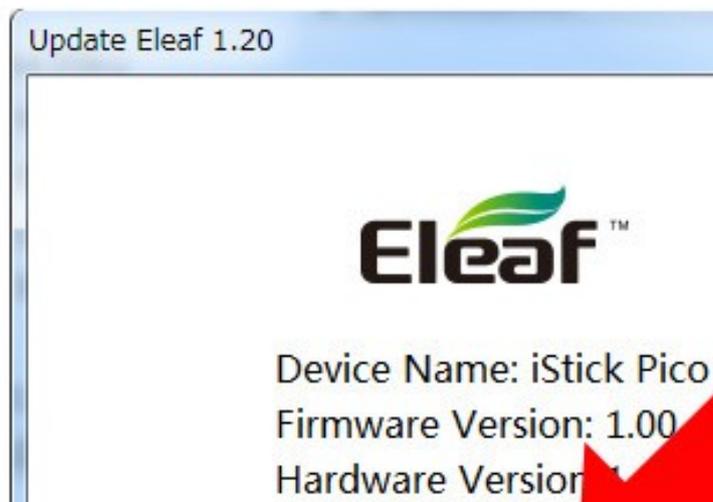
【ロゴ表示／非表示】設定したオリジナルロゴの表示設定です。

電源 ON の状態で、パフボタンを素早く 2 回押し。

設定変更ボタンで ON/OFF 切り替え。パフボタンで決定です。

アップデーターで オリジナルロゴを表示出来ます。

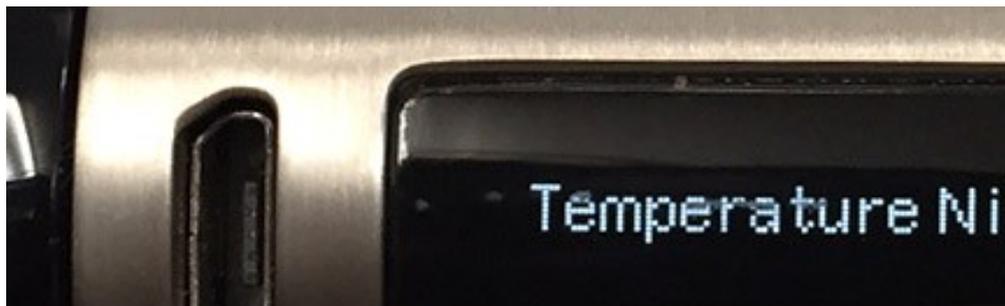
サイズは幅 96px、高さ 32px、画像の形式は bmp です。



「パフボタン」を素早く 3 回押すと、出力モード変更です。

使用するコイルの種類に合わせて設定を変更します。

設定変更スイッチのプラス、マイナスを押すたびに設定が変わります。



- ・ Temperature Ni (温度管理・ニッケル)
- ・ Temperature Ti (温度管理・チタン)
- ・ Temperature SS 316 (温度管理・ステンレススチール 316)
- ・ TCR M1・M2・M3 (温度管理・対応コイルは TCR で設定)

・ Wattage (ワッテージ)

・ Bypass (バイパス)

W 出力 (温度管理 OFF) / スターターキットを初めて使う場合

温度管理をしない、ワット出力の場合は「Wattage」に合わせて使用して下さい。

スターターキットの場合、付属の HW1 コイルは推奨 50W~65W、HW2 コイルは推奨 45W~60W です。



Bypass (温度管理 OFF)

いわゆるメカニカル MOD と一緒の電池から直取り出力が「Bypass」になります。

このモードは出力変更が出来なくなります。自分でコイルを巻く RBA (RDA、RTA) 用です。



温度管理で使用する場合

温度管理で使用する場合は、温度管理用コイル（Ni、Ti、SS 等）を使い、そのコイル素材に合わせ Temperature Ni、Ti、SS、TCR のどれかに設定して下さい。

設定温度は 350°F～500°F（180～280℃）ぐらいがオススメです。

スターターキットの場合、付属の HW1 コイルは Temperature SS に合わせれば使用出来ます。

■ 温度管理で使用する場合（W 数の変更）

W 数はパフボタンを 4 回押すと変更出来ます。

温度管理時の W 数は高いと多く煙が出ますが、コイルが痛みやすかったり味が飛びやすいので、20～30W ぐらいを目安に、

温度と合わせて一番美味しく吸える W 数に調整して下さい。

■ 温度管理で使用する場合（抵抗値のロック）

温度管理で使う場合は、抵抗値（ Ω ）が動かないように必ずロック（鍵マーク）してください。

設定変更ボタンの「プラス」と「パフボタン」を同時長押しするとロック出来ます。

アトマイザーやコイルを変えた時はロックを設定し直して下さい。



【温度管理機能ってなに？利点は？】

温度管理（Temperature Control、以下 TC）は、予め温度を設定し、それに合わせてバッテリーが出力します。コイルの熱を測っていますので、**必ず TC 機能専用のコイル（ニッケル、チタン、ステンレススチール素材）が必要です。**

温度管理機能で使用すると「**コイルが焦げにくい**」「**一定の温度で吸えるので味が安定する**」「**バッテリーの消費が抑えられる**」という利点があります。

TCR 値設定／プリヒート機能

電源 OFF の状態から、設定変更ボタンの「プラス」と「パフボタン」を同時に長押しすると設定画面が出ます。

パフボタンを押すたびに **M1、M2、M3、Power（予熱出力）、Time（予熱時間）** の順に表示されます。

設定変更ボタンで数値変更、一定時間経過すると決定して OFF になります。

■ TCR を使って温度管理で使用する場合

M1、M2、M3、の数値を変更します。

通常コイルの抵抗値は温度によって変化しますので、温度管理機能はそのコイルの抵抗値の変化率に合わせた抵抗温度係数（TCR 値）が設定されています。この TCR 機能はその TCR 値を自身で決める事が出来る機能で、それによりミストの熱や量、味の出方など微調整出来ます。

使うコイルの MATERIAL（素材）に合わせて M1、M2、M3 という 3 つの TCR 値を設定可能です。

（例えば...）M1 はニッケルコイル用に 620、M2 はチタンコイル用に 350、M3 は SS コイル用に 130 など。



オススメ設定値は下記の通りです。

コイル材質：Nickel（ニッケル）

TCR 設定値：600-700

コイル材質：NiFe（ニッケル&鉄の混合）

TCR 設定値：300-400

コイル材質：Titanium（チタニウム）

TCR 設定値：300-400

コイル材質：SS（ステンレススチール）303, 304, 316, 317

TCR 設定値：80-200

■ プリヒート（予熱）機能を使用する場合

Power（1～75W）、Time（OFF、0.1秒～2.0秒）の数値を変更します。

プリヒートはパフボタンを押した時に予め設定した任意の時間とワット数で出力します。

Time を OFF にすれば、プリヒート機能も OFF になります。

例えば Power40W、Time0.5 で設定すれば、始めの 0.5 秒だけ 40W で出力して、その後に通常の出力に戻ります。

最近流行のワイヤーを 2~3 本使用したクラブトンコイルなどは、味は良いですが立ち上がりが遅いという特徴があるため、そ

ういったコイルにこのプリヒート機能で少し高めの W 数で加熱してあげると快適に楽しめます。

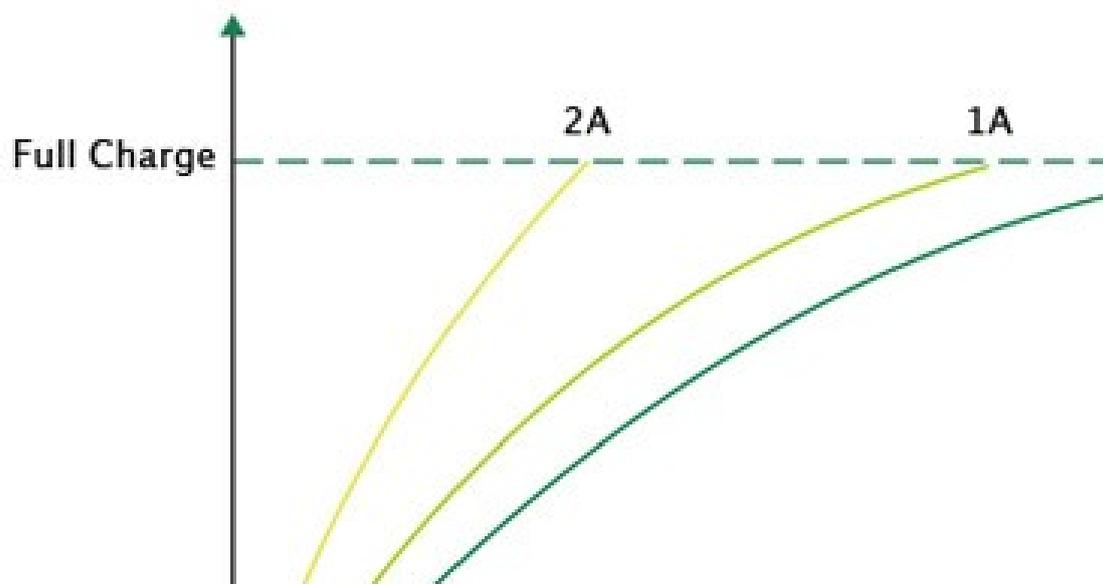


付属の QC USB ケーブルや、急速充電用 AC アダプター(5V/2A) で電池を入れたまま高速充電可能です。

メーカーは電池を取り出して別で充電する事を推奨していますので、別売りの充電器のご購入をオススメします。



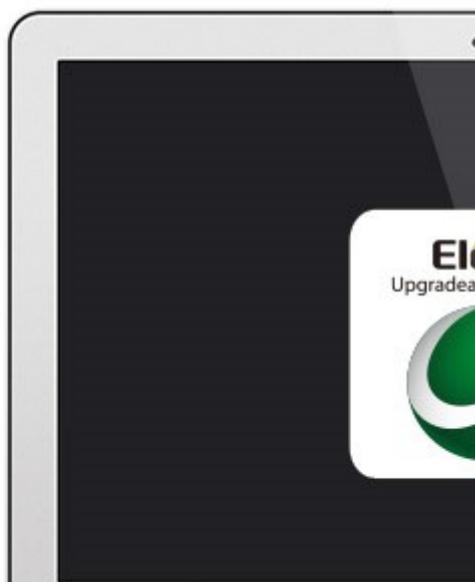
2A の高速充電が可能です。



本体をパソコンに繋いでファームウェアのアップデートが可能です。

[Eleaf のホームページ](#)より、ソフトウェアをダウンロードして下さい。

基本的には性能が向上しますが、使い勝手が変わったり不具合が出る可能性もありますので、アップデートは自己責任でお願い致します。（当店ではサポート外です）



本体の現在のバージョンを知りたい場合、電源OFFの状態からパフボタンを素早く20回押すと、ディスプレイに表示されます。

Version

1.0